

デジタル技術を活用した課題解決ワークショップ

【土木インフラ管理・整備のデジタル化】

福岡県では、ロボットやIoT、AIなど、様々なデジタル技術を活用して、地域課題を解決するプロジェクトを創出するため、現場のニーズと県内企業が有する技術シーズとのマッチングを図るワークショップを開催します。

今回は、県土整備部と連携して、「土木インフラ管理・整備のデジタル化」をテーマに、以下のニーズについて、プロジェクト化の検討を行いますので、参加される企業を募集します。

<プロジェクト化を検討するニーズ>

テーマ	ニーズ概要
① 浸水、道路冠水の即時把握【道路維持課、河川整備課】	現在は浸水被害発生後、浸水冠水範囲や浸水深を把握するため、測量業者等による浸水痕跡調査や市町村等へのヒアリングを実施。しかし、こうした被害状況把握には緊急性が求められるため、浸水状況や道路の冠水状況が即座に確認出来るシステムを構築したい。
② 道路斜面、地すべり、がけ崩れ等の即時把握【道路維持課、砂防課】	豪雨時など土砂災害の危険性が高まった際に備えて、道路斜面の崩壊、地すべり、がけ崩れ等の状況をリアルタイムで監視したい。
③ 道路陥没や河川堤防の変状把握【道路維持課、河川管理課】	道路陥没や河川堤防の変状を把握するため、現状は目視点検等を実施しているが、作業効率化のため、道路舗装面や河川堤防法面の僅かな変状を簡易に把握できるシステムを構築したい。
④ 河川や砂防堰堤の土砂堆積状況の把握及び発生土砂量の予測【河川管理課、砂防課】	土砂の堆積状況の確認は巡視点検で実施しているが、出水により流出した土砂が、砂防堰堤で捕捉できず流出する場合があるため、河川等の土砂堆積状況を簡易に見える化したい。 さらに、砂防堰堤においては、土砂発生流域の地形変化を計測し、次期出水による発生土砂量を予測したい。
⑤ ドローンを活用した事業の見える化【道路建設課】	国、県内部及び地元への事業説明は、現在、紙の平面図等を活用しているが、効果的な事業説明に努めるため、ドローンをルート(将来道路)上に飛ばし、将来道路が見える化したい。

● 日 時:令和5年1月17日(火) 14:00~17:30

● 会 場:博多サンヒルズホテル 瑞雲の間 (福岡市博多区吉塚本町 13 番 55 号)

● 内 容

時 間	内 容
14:00~14:45	各担当課からニーズの紹介
14:45~16:00	質疑応答・フリーディスカッション(終了後、個別相談会場へ移動)
16:10~17:30	個別相談会(同ホテル別会場に個別ブース設置)

● 参加費:無料

● 参加要件:福岡県半導体・デジタル産業振興会議または福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議の会員であり、県内に研究、生産・活動拠点を有する企業(法人格を有していること)

● 定 員:15社・30名(先着順に受付、定員に達し次第、受付を終了します)

● 申込締切:令和5年1月10日(火) 17時まで

● 申込方法:[リンク先](#)のフォームからイベント名「土木インフラワークショップ②」を選択し、必要事項を記入の上、お申込み下さい(イベント番号の入力は不要です)。

※ 本事業はビジネスマッチングを目的としています。ワークショップ当日に自社のパンフレット等を持参頂くなど、積極的な営業活動を奨励します。また議論の活性化、今後の商談の参考のため、参加者情報(会社・団体名、所属・役職、氏名)は各参加者に提供いたします。